



工事説明会で出た質問とその回答について、回覧板の中で毎回少しずつ掲載していきます。
全ての質疑応答はホームページに掲載してありますので、そちらを御確認ください。
また、ホームページを見られない方のために質疑応答集(印刷した物)を区民センター等(説明会会場)や市役所、町役場(空港担当部局)にも配架していますので、そちらを御覧ください。

Q RESA 整備に当たっては空港建設時のような大型重機で工事を行うのか。

A 空港建設時で使用したような大型重機は使用せず、一般的な土木工事で使用する汎用的な重機により施工する予定です。

RESA の整備工事では、土砂を運ぶダンプ、敷均しのブルドーザ、土を締め固める振動ローラ等の複数の重機が、空港建設時よりも狭い範囲で同時に作業することを想定しています。

また、土砂や資材運搬は一般道路や空港場内の道路を通行するため、一般的な土木工事で使用する汎用的な重機により施工する予定です。

Q RESA 整備と同時に滑走路を延長すれば、工事終了後となる5年後にはコロナも収束し、他空港に対しても競争力をつけることができるはずだが、どのように考えているか。

A 富士山静岡空港の規模としては十分な長さを有しているため、現在、滑走路の延長の予定はありません。

滑走路を延長するためには RESA 整備のみと比べて盛土量が大幅に増大するだけでなく、滑走路以外にも誘導路や航空機の運航に必要な航空灯火、無線施設等の整備が必要となります。

また、空港を運用しながら工事を行うことから全て夜間工事で行う必要が生じ、それらを全て勘案すると工事期間が RESA 整備のみの場合と比べて大幅に増大することとなり、令和8年度までの RESA 整備が間に合わない可能性があります。そのため、まずは国の方針である 90m の RESA 確保を最優先に考えています。

なお、現在の滑走路長 2,500m は国内線及び近隣諸国との国際線の運航が可能であり、十分な長さを有しています。

静岡県空港振興局 空港調整室(島田土木事務所駐在)

〒427-0019 島田市道悦5丁目7-1 TEL:0547-37-7316 FAX:0547-37-7319

Eメール: airport-cyousei@pref.shizuoka.lg.jp

[現在、富士山静岡空港では、大規模盛土工事を伴う滑走路端安全区域の拡張工事(=RESA工事)を行っています。]
[この回覧板は、RESA工事に関するお知らせを定期的に情報提供するための回覧板兼広報紙です。]

Topic

様々な重機が活躍しています。

RESA盛土下段部の工事を「前田建設工業(株)」が受注し、現在施工中です。5月から実施していた市道坂口49号線に面した法面への法枠工が完成しました。

現在、RESA盛土下段部の排水構造物設置作業を行っています。深さ3.6m、1基当たりの重量約7tの水路を設置するため、様々な重機が活躍しています。水路を据付けるRESA下段部へは、斜度約30%の仮設道路を通る必要があります。そこで、掘削土砂の運搬に、急勾配で起伏の多い道でも走行可能なアーティキュレートダンプを利用しています。

また、製品の運搬は、遠隔操作することができるラジコン型の不整地運搬車にて行い、50t吊りクローラークレーンにより、現場へ据付けています。

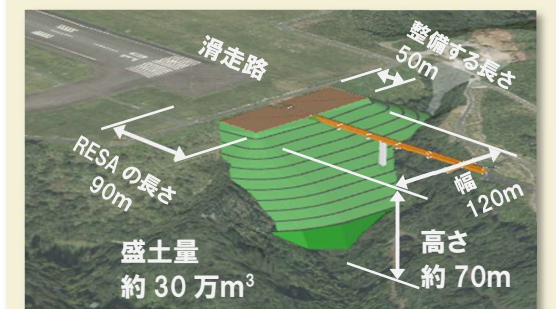
活躍中の重機



滑走路端安全区域 (RESA) とは

RESAは、滑走路端安全区域(Runway End Safety Area)の略称で、航空機が離着陸するときに滑走路を超えて走行し停止してしまう「オーバーラン」等を起こした際に航空機の損傷を軽減させるため滑走路の両端に設けられる区域のことをいいます。

富士山静岡空港では空港東側のRESAが新たな国際基準に適合するように拡張工事を行っています。



排水構造物設置状況

RESA 工事進捗状況

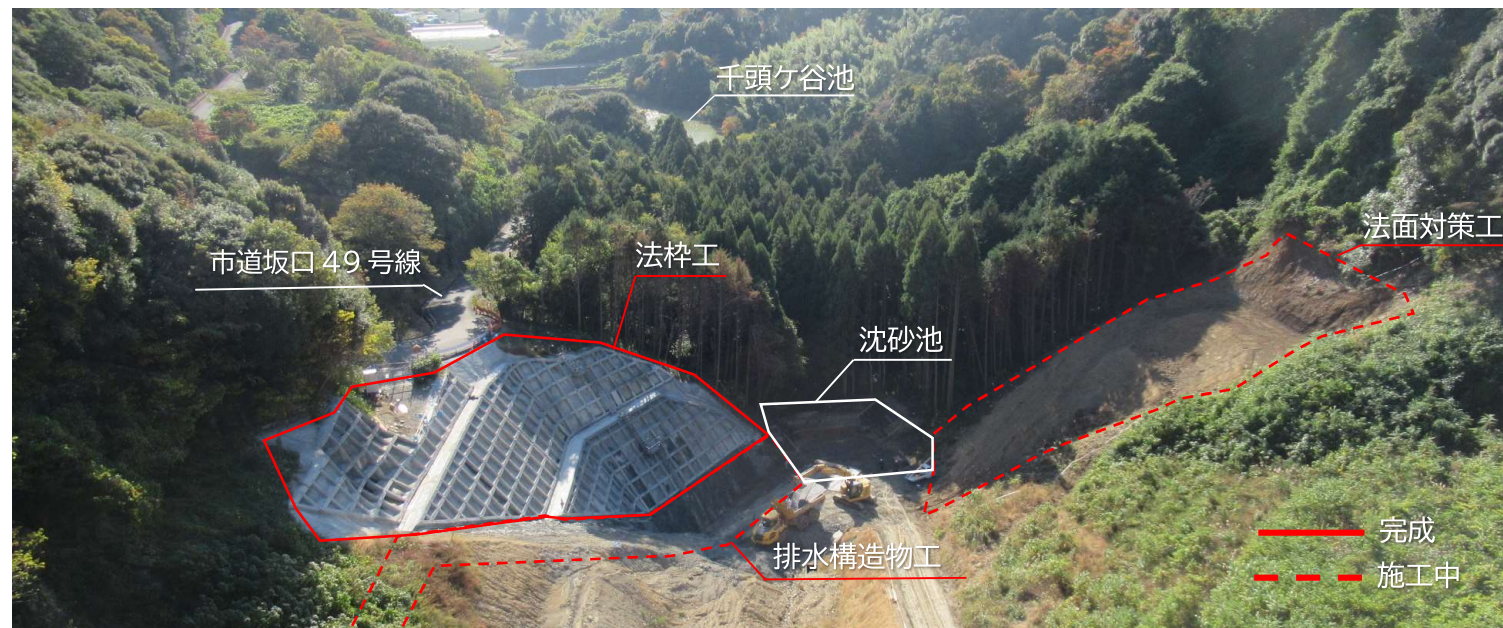
12月から、排水構造物の設置及び法面对策工を実施しています。その後、2月頃から盛土基礎部の置換コンクリート工を実施し、完了次第盛土工に着手します。

現場及び運搬ルートの近隣の皆様には、御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力をお願いいたします。

[RESA 補強盛土工 工程表 R6.1月~R6.3月]

| 代表的な工事内容 | 令和6年 | | | (次期工事への引継ぎ) |
|-----------|------|----|----|-------------|
| | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 法面对策工 | ■ | ■ | | |
| 排水構造物工 | ■ | ■ | | |
| 置換コンクリート工 | | | ■ | |
| 盛土工 | | | | ■ |

※この工程表は12月12日現在の予定で予告なく変更する可能性があります。大きな変更がある場合には回覧板等によりお知らせします。



RESA 工事進捗状況

RESA 現場見学会

12月8日(金)に静岡農業高校の環境科学科に所属する生徒63名が、進路見学としてRESA工事現場に訪れました。土木分野に就職を考えている生徒もあり、真剣に現場を見学する様子や、工事について質問する様子が伺えました。

盛土工事の進捗状況に合わせて地元の方角への現場見学会を開催する予定です。見学会の詳細については、次号以降の回覧板に掲載もしくは、別途案内を回覧します。

実際に盛土を施工する様子を現地にてご確認いただき、盛土の安全性をご説明させていただきたいと考えておりますのでぜひお越しください。



RESA 現場見学会(静岡農業高校)

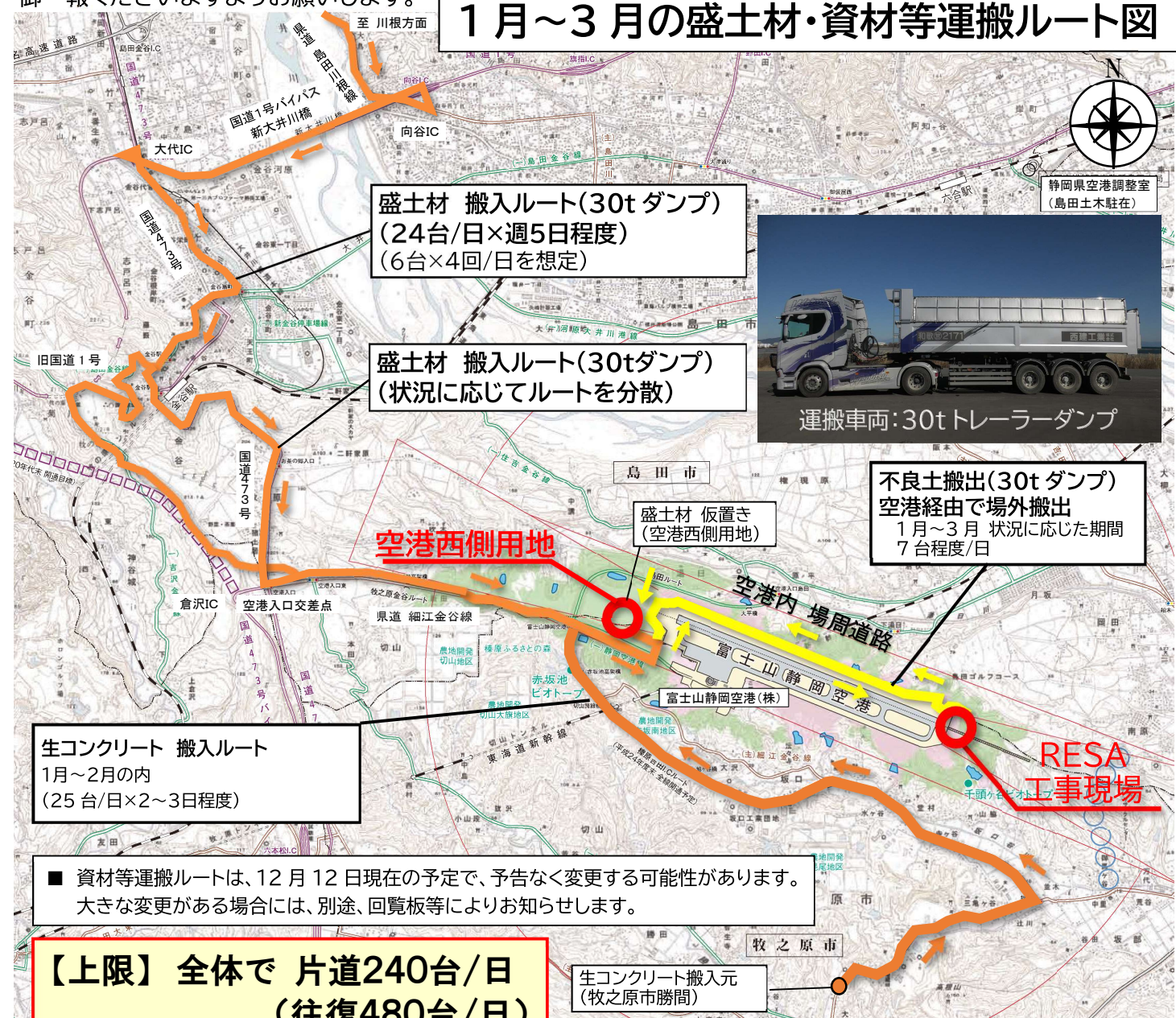
法面对策工
盛土をするために掘削した法面を侵食防止シートにより保護し、鉄筋挿入工により強度を高めめます。

置換コンクリート工
盛土の基盤面をコンクリートに置換え、支持地盤を保護し、盛土を支持地盤に定着します。

1月~3月の盛土材・資材等運搬ルート

盛土基礎部の施工に伴い、材料となる生コンクリートの搬入が1月から始まります。

1月から3月の盛土材・資材等運搬ルートは下図のとおり予定しています。運搬車両には、「空港マーク」を付け、騒音、振動、粉じん、迷惑運転等には細心の注意を払い、安全運転に心がけています。運搬のことについてお気付きの点がありましたら、静岡県空港調整室(0547-37-7316)または前田建設工業(株)(0548-28-6222)まで御一報くださいますようお願いいたします。



※台数は、片道の日当たり延べ台数(例 5台×5回/日=25台/日)
※往復は、台数×2(積み荷+空積)(例 25台/日→往復50台/日)